

ななかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

白地に赤く 日の丸をめぐめて

ああ美しい 日本の旗は

(日本の唱歌より)

第13号 平成25年 6月15日発行 奈加美神社 泉佐野市中庄 834 電話 462-7080

式年遷宮 く伊勢・出雲への誘い

本年は日本の総氏神である伊勢の神宮の二十年に一度、また出雲大社の六十年に一度の式年遷宮の年にあたります。

式年とはある一定の定められた期間、遷宮とは神さまがお遷りになられることを意味します。伊勢の神宮では二十年に一度、内宮(皇大神宮)・外宮(豊受大神宮)の御正殿の他、十四所の別宮を始め数多くの社殿が建替えられ、新しい社殿に神々がお遷りになります。この式年遷宮の制度は天武天皇が定め、持統天皇



出雲大社御本殿

5月10日に60年ぶりの平成の大遷宮が執行われ、御祭神・大国主大神が改修された立派な御本殿にお遷りになりました。国宝に指定されている御本殿は「大社造り」と呼ばれる神社建築様式で、24メートルの高さを誇る比類ない規模の立派な社殿です。



第二回 なかみの郷 春の文化祭

の御代六九〇年に第一回が行われました。その後幾度か中断や延期があったものの、約千三百年の間、連綿と受け継がれてまいりました。神道では清浄を尊ぶ精神性があり、常若(とこわか)という思想があります。二十年毎にお建替えをして新しい社殿にお遷り頂き、皇祖神・天照大御神を始め神々の御神威の更新、蘇りを願ひ、またその恩恵を頂いてあらゆるものの生命、国も常に若返るようにと願ひが込められています。日本を代表する伊勢の神宮、出雲大社の遷宮の佳節に是非ご参拝頂き、日本の精神・伝統文化の素晴らしさを感じて下さい。

去る四月二十九日(昭和の日)、午前十時から春祭り並びに昭和祭を執り行い、午後二時から神賑わい行事として「第二回なかみの郷春の文化祭」を氏子青年会・なかよし保育園共催にて開催しました。開会式ではまず国歌を斉唱し、続いてなかよし保育園の園児さんが元気に園歌を歌いました。



行事では、始めに巫女による湯立て神事(湯神樂)の奉納、園児さんたちによる童謡の合唱、神職でもありジャズピアノニストでもある柳原由佳さんを中心としたユニット「カメリア音楽堂」によるミニコンサート。また腹話術やマジックショーなど、子どもたちも大いに盛り上がりました。

また境内において、菖蒲酒のふるまいや藤見茶席でのお抹茶の点て出し、絵手紙作家の宮脇泰彦先生による絵手紙あんどん作りの体験コーナー、工作コーナーなど、昨年よりも充実した催しとなりました。なお出来上がった絵手紙あんどんは、昨年同様六月二十日の御田植祭で境内に飾り、ろうそくを入れて火を灯します。今回より「なかみの郷春の文化祭」は各町内会を始め、氏子の事業所の有志の方々のご協賛により運営させて頂きました。ご協力頂きました皆様には心より厚く御礼申し上げます。

鎮守の杜の植物 — 藤 —

なかみの郷第七号で紹介させて頂きました九尺藤が、約一メートルの花房をつけ、棚一面見事に咲き誇りました。

「藤」と言えば一般的には大阪の福島あたりに自生した「野田藤」が有名ですが、園芸種を含めて約二十種ほどの品種があります。大きく分類するとノダフジ系とヤマフジ系に分けられます。ノダフジ系は花が小ぶりで花房が長く垂れ下がり、つるは右に巻きます。ヤマフジ系は花が大ぶりで花房は短く、



だるま藤や花美短（かびたん）とも呼ばれ、つるは左に巻きます。

奈加美神社では鳥居を入ったところの「白野田藤」や、神馬の周りの「岡山一才藤」・拝殿横の「野田藤」など、拝殿裏の藤も合わせ十数種植え付けております。花の咲きも少しずつ充実してまいりましたので、また来年もお楽しみ下さい。

敬神婦人会結成四十五周年記念植樹

昭和四十三年に敬神婦人会が結成され、本年目出度く四十五周年を迎えました。

敬神婦人会の総会並びに神社参拝研修旅行では、

毎年桜の名所を訪れるなど桜と縁深く、四十五周年を記念して本殿裏に「枝垂桜」の献木を頂きました。四月二日には北野会長を始め役員一同参列のもと奉告祭を執り行いました。



高さ四メートル程度の若木ですが、十数年後には立派に成長し、たくさんのお花を咲かせてくれることを期待します。

夏越の大祓・茅の輪神事

昨年より夏越大祓並びに茅の輪神事を再興し、百五十名を上回る多くの皆様にご参拝頂きました。本年も六月三十日の午後七時より執り行います。



この大祓は日々の生活のなかで、知らず知らずの内に身につけてしまった罪や穢れを人形に移してお祓いし、心身の浄化と健康を願う日本の伝統的な神事です。神社総代お手製の茅の輪を拝殿前に設置して、神事を執り行います。どうぞお気軽にご参加下さい。

計知之神（けちのかみ）

拝殿の左奥、鎮守の森の入口付近に静かにお鎮まりになる石の祠があります。知らない方も多いかと

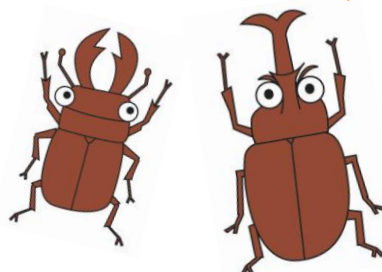
思いますが、参道を整備してからお参りされる方が増えてまいりました。計知（けち）はケチと音の響きからケチ神さんと言われる方もあるようですが、字の意味からすると「計り・知る」、物事を計り知る千恵の神ではないかと推測されます。

平松古絵図には文光寺（廃寺）の大御堂で「けちの座」が行われていたことが記されていますし、天明五年（一七八五）の「大宮様御規式控」正月五日の項にも「けちの神」の神事内容が記されています。明治四十二年に行われた奈加美神社本殿への合祀は叶いませんでしたが、歴史のある神さまでですので、再整備が望まれるところです。

昆虫好きのちびっ子 奈加美神社に集れ！

7月28日(日)夕方にカフトムシのイベントを開催します。くわしくは7月中頃に神社前に案内を掲示します。

お楽しみに！



ご祈祷のご案内

お宮参り・安産祈願・七五三厄除け・車のお祓い
地鎮祭・住宅入居のお祓い
神道家霊祭等、各種お祓い
受付致しております
お電話にてご予約お申込み
下さい

公式ホームページ開設
<http://www.nakami.org>